

家庭訪問型子育て支援ボランティア養成講座

特定非営利活動法人 i-net

〒279-0013 千葉県浦安市日の出1-3-21-106

助成事業の概要

目的：

家庭訪問型子育て支援に取り組むにあたって、家庭訪問型子育て支援の意義・仕組みの理解、傾聴のスキル、リスクマネジメント、子どもや保護者への理解等、実際の活動に必要なスキルを習得できる全般に関わる知識やスキルを、実習を交えた講義を通じて学びます。

時期：

募集 2014年8月下旬～

講座 2014年10月～11月

内容：

7日間（32時間）、14講座を実施、講師は浦安市内・近隣で活躍する各分野の専門家。

10月15日10時～15時：

オリエンテーション・ホームスタートの意義

10月23日10時～15時：

家族とは何か、親とは何か・子どもの理解

10月28日9時半～15時半：

問題や悩みのある家庭への理解・地域連携のために

11月6日9時半～15時半：

傾聴の意義と方法

11月13日9時半～15時：

家庭で活動する上でのポイント・ホームビジターの実務

11月20日9時半～15時半：

傾聴と協働の実際

11月25日10時～15時：

シェアリング及び修了テスト・修了式

事業の成果

申請時に最大の課題であった「育児不安・負担が高く、引きこもりがちな家庭」（グレーゾーン家庭）への対応をより迅速に行うために、不足していたボランティアの追加養成ができました。

その結果、支援の積極的な展開が可能になったことは、家庭訪問型子育て支援ホームスタートの浦安での活動にとって、大きな前進であり、本事業は評価できる内容であったと考えます。

具体的には、受講者12名で、そのうちの修了者が3名でした。修了者については講座修了直後の12月から、新しいボランティアの養成を待っていた利用者に対して、家庭訪問活動を開始しました。途中となっている9名についても、次年度以降に引き続き養成講座を実施する際には、参加いただき、修了・活動参加いただけるよう、コンタクトを続けています。

また、ボランティア養成講座の開催について、案内チラシ500枚を印刷、市内公共施設等に設置・配布しました。あわせて、浦安市の広報紙「広報うらやす」や地域のミニコミ紙等にも掲載依頼を行いました。

今後に向けた課題としては以下の通りです。

養成直後から、養成した支援者（ボランティア）は市内全域で実際に、家庭訪問を行い、傾聴と協働の活動を行っています。今後は、今回養成したボランティアのスキルアップを図り、活動の質を上げていくことと、活動の周知を図り、支援が必要な家庭に活動の情報を届け、気軽に利用できるような体制を作っていくことが必要と考えま

す。上記に伴い、さらに必要になる支援者を、今回事情により修了しなかった受講者も含め、いかに計画的に養成できるかも課題です。

■ 成果の広報・公表

今回の養成講座実施により、3名が講座を修了し、活動できるようになったことで、これまで以上に迅速に利用希望する家庭に訪問が実施できるようになりました。また、今回の修了者の中には、これまでの修了者にはいなかった、ワーキングマザーの経験をもつボランティアがいたことから、最近特に増加している、育児休暇から復帰する予定の母親がいる家庭へ、同様の経験があるボランティアが訪問できることになったことも団体として大きな成果だと考えています。

また、養成講座開催の告知が各種広報紙等に掲載されたことで、この活動が子育て家庭の目に触れる機会が増え、利用希望者からの問合せが増えたこと、利用にはつながらなくても、いざという時のセーフティネットとしての認知が進んだことも成果の1つです。

■ 今後の展開

今後は、新たに養成した3名を加えた合計14名のボランティアのスキルアップをはかりつつ、希望家庭への訪問を続けていきます。また、それとともに、コーディネーター・事務局が行政の担当課との連携をはかり、問題が表層化していないが支援がないままでは保護者の負担感や子どもの成長に問題が起きる可能性がある家庭が積極的に家庭訪問型子育て支援を利用できるような仕組みづくりを進めていきたいと考えます。